

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	浸水災害時の運動型デイサービス和み2階への垂直避難訓練を充分に行えていない。	車椅子、歩行困難者をスムーズに誘導し短時間で避難を完了できるようにする。	全体での移動時の順番を何パターンか試して良い形を求める。2階に移動するための補助機器の導入を検討する。	6ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み 代表者は管理者や職員一人一人のケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や働きながらトレーニングしていくことを勧めている。	研修参加者は、研修内容を職員に報告し全体への周知を図る。	研修内容を書面にして提示回覧する。ケア会議で研修内容を発表し意見交換をする。	3ヶ月
3	11	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け反映されている。	ケア会議で個々の意見を出してもらっているが、個別に意見を出せる機会を作る。	目安箱を設置し意見や要望を、ケア会議で取り上げ話し合う。	3ヶ月
4	27	個別の記録と実践への反映 日々の様子や実践結果、気付きや工夫を個別記録に記入し職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	タブレットに入力した個々の情報を全職員が確認しに逐一把握出来るようにする。	個々の状態の変化等、気付いたことを記録する。また、他の記録も確認する習慣を身につける。	1ヶ月
5	49	日常的な外出支援 一人一人のその日の希望に沿って戸外に出かけられるよう支援に努めている。また普段は行けないような場所でも本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設の外に出て、季節の変化を感じ気持ちをリフレッシュして頂きたい。施設外の人と接することで良い刺激を得られる。	近隣の花見や散歩、地域のお祭りに参加していく。福祉車両を利用して車椅子や歩行困難な方も外出する。	0ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。